

科目名	看護教育特論
科目属性	専門科目B群
担当教員	松枝 美智子 澁木 琢磨
単位数	2単位 (SC 0単位)
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>【授業概要】 看護学生(看護師)の主体的な学びを導く看護学教育(看護継続教育)と教育に携わる者のあり方を、多角的な視点から探究する。</p> <p>【授業到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護師を育てるとはどのようなことかを看護理論を踏まえて自分の言葉で説明する。 2. 看護師を育てるとはどのようなことかを看護倫理を踏まえて自分の言葉で説明する。 3. 看護学教育の歴史と現状から今後の看護学教育のあり方を考察する。 4. 看護学教育を支える法・制度について説明し、現状の課題を考察する。 5. 最新の看護学教育モデル・コア・カリキュラムの特徴を理解する。 6. 看護学教育における講義-演習-実習の連関について説明し、効果的なシミュレーション教育のあり方を考察する。 7. 指導型実習教育と経験型実習教育の特徴を理解し利点と欠点を説明する。 8. 経験型実習教育において教師と学生に必要な能力について説明する。 9. 看護学生の学修者としてのレディネスと教授活動のあり方について説明する。 10. 経験型実習教育における教材化の技術について説明する。 11. 経験型実習教育における学生との面接や記録へのフィードバックにおける発問の技術について具体例を挙げて説明する。 12. 看護学生の臨床能力の育成に欠かせない Tunner のリフレクションモデルを理解し説明する。 13. 看護教師と看護学生の自己効力感の関連と自己効力感を育むための教授活動について説明する。 14. 看護学生の主体性を育むポートフォリオについて説明する。 15. 高度な専門性を持つ看護師の育成と活用 	
<p>【授業計画】 本科目はレポート提出、科目修得試験（レポート形式）で構成する。次に示す15回までの内容をテキストに基づいて学習する。 評価は「レポート評価」（50%）、「科目修得試験」（50%）で総合して評価する。</p> <p>(授業計画)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護師を育てるとは：看護理論と看護倫理に基づく看護学教育の展開 教科書として示しているベナーの図書、参考文献として示している中尾久子(2021)先行研究、日本看護協会の倫理綱領、国際看護師協会の倫理綱領を読み、看護師を育てることとはどのようなことかについて考察する。 2. 看護学教育の歴史 参考文献として示している看護学教育の歴史に関する文献と自分で探索した先行研究を参照し、看護学教育の過去と現在の状況を踏まえて、今後の看護学教育のあり方について考察する。 3. 看護学教育に関連する法（医療法、保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保の促進に関する法律）と看護学教育制度 看護に関連する法や制度についての参考文献を参照し、法や制度の課題について考察する。 4. 看護学教育モデル・コア・カリキュラムの特徴 最新の看護学教育モデル・コア・カリキュラムを参照してその特徴を理解し、現状で求められている看護にとって十分な内容かを検討する。 5. 看護学教育における講義-演習-実習の連関とシミュレーション教育の活用 テキストと先行研究を参照し、講義-演習-実習を効果的に連関させて系統的に学修を促進するために必要なシミュレーション教育の要素について検討する。 	

6. 指導型実習教育と経験型実習教育
実体験や文献から指導型実習教育と経験型実習教育の特徴を理解し、その利点と欠点を検討する。
7. 経験型実習教育において教師と学生に必要な能力
経験型実習教育に関するテキストや参考文献を参照し、経験型実習教育において教師と学生に必要な能力について知る。
8. 看護学生の学修者としてのレディネスと教授活動
看護学生の学修者としてのレディネスに合わせた教授活動のあり方について文献を参照して理解する。
9. 経験型実習教育における教材化の技術
テキストを参照して教材化の方法について具体的なイメージを深める。
10. 看護学生の臨床能力を育む Tanner の臨床判断モデル
Tanner の臨床判断モデルを参照して理解し、看護学教育の中にどのように生かしていくか、具体的な方策について検討する。
11. 看護教師と看護学生の自己効力感の関連
学修するために必要な自己効力感について文献を参照し、看護教師の自己効力感と看護学生の自己効力感の関連について検討する。学生の自己効力感を高めるために必要な教育的なアプローチについて検討する。
12. 看護学生の主体性を育むポートフォリオ
ポートフォリオの参考文献を参照して理解し、学生が主体的に学ぶための方法として活用可能性を検討する。
13. 高度な専門性を持つ看護師の育成と活用
高度実践看護師、認定看護師、特定行為の研修者等の高度な専門性をもつ人材の役割、機能、実際の活動を先行研究を参照して理解し、看護師のキャリア形成のあり方について検討する。

【評価方法】

「レポート評価」 (50%)、「科目修得試験」 (50%) の割合で総合して評価する。

【教科書】

パトリシア・ベナー, モリー・サットフェン, ヴィクトリア・レオナード, リサ・デイ, 早野 ZITO 真佐子 (訳) (2011). ベナー ナースを育てる. 東京; 医学書院. ISBN 978-4-260-01429-8 (電子書籍有)

安酸史子, 北川明 (2018). 看護を教える人のための経験型実習教育ワークブック. 東京; 医学書院. ISBN-13 978-4260035910 (電子書籍有)

馬場好恵, 本田可奈子, 中西京子 (2021). 看護基礎教育の臨地実習における実習指導者の持つコンピテンシー. *日本看護研究学会雑誌*, 44 (2), 285-297. doi.org/10.15065/jjsnr.20201222117
大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会 (2017). 看護学教育モデル・コア・カリキュラム: 「学士課程においてコアとなる看護実践能力」の修得を目指した学修目標.

chrome-extension://efaidnbmnnnibpcajpcgclefindmkaj/https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2017/10/31/1217788_3.pdf

江崎ひろみ*, 窪田志穂, 宮宇地秀代, 荒巻葉月, 神野藍梨, 福島里奈, 宮本翔平, 政岡敦子, 田中美延里, 野本百合子, 野村美千江 (2016). 自己教育力を高める「実習ポートフォリオ」の開発—学生と教員の協働によるアクション・リサーチ. *愛媛県立医療技術大学紀要*, 13 (1), 21-29.

International Council of Nurses (2020). INTERNATIONAL GUIDELINES ON ADVANCED PRACTICE NURSING COUNCIL.

https://www.nurse.or.jp/nursing/international/icn/katsudo/pdf/apnreport_jp.pdf

Lhttps://www.nurse.or.jp/nursing/international/icn/katsudo/pdf/apnreport_jp.pdf OF NURSES. (和訳版 翻訳: 公益社団法人 日本看護協会)

国際看護師協会 (2021). ICN 看護師の倫理綱領 (2021 年版). 和訳版: (公財) 日本看護協会

https://www.nurse.or.jp/nursing/assets/pdf/icn_document_ethics/icncodejapanese.pdf
公益財団法人 日本看護協会(2021). 看護職の倫理綱領.

http://www.nurse.or.jp/nursing/assets/statistics_publication/publication/rinri/code_of_ethics.pdf

厚生労働省. 保健師助産師看護師法(昭和二十三年七月三十日)(法律第二百三号).

https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=80078000&dataType=0&pageNo=1

厚生労働省. 保健師助産師看護師学校養成所指定規則(昭和二十六年文部省・厚生省令第一号)
施行日: 令和四年十月一日(令和四年文部科学省・厚生労働省令第三号による改正)

https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=80081000&dataType=0

厚生労働省. 看護師等の人材確保の促進に関する法律(平成四年六月二十六日)(法律第八十六号). <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/0000103786.pdf>

日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分科会(2011). 高度実践看護師制度の確立に向けて:
グローバルスタンダードからの提言. <https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-21-t135-2.pdf>

日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分科会(2017). 大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準:看護学分野. <https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-23-h170929-9.pdf>

日本学術会議臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同 少子高齢社会におけるケアサイエンス分科会(2020). ケアサイエンスの基盤形成と未来社会の創造.

<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-24-t291-7.pdf>

日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分科会(2020). 「地元創成」の実現に向けた看護学と社会との協働の推進. <https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-24-t292-8.pdf>

日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分科会(2023). 持続可能な社会に貢献する看護デジタルトランスフォーメーション. <https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-h230922-3.pdf>

松枝美智子, 村田節子, 渡邊智子, 江上史子, 松井聡子, 永嶋由理子(2021). 医療施設等の看護管理者が高度実践看護師に提供したい支援. *星槎大学大学院紀要*, 3(1) 45-60.

松井由美子(2022)看護学教育のモデル・コア・カリキュラム, 指定規則とカリキュラム設計の実際. *日本保健医療福祉連携教育学会学術誌・保健医療福祉連携*, 15(2), 92-97.

ミルトン・メイヤロフ, 田村真, 向野宣之訳(1987). *ケアの本質:生きることの意味*. 東京;ゆみる出版.

森田敏子, 上田伊佐子(2019). 熟達看護者になる素地を育む看護学教育. *徳島文理大学研究紀要*, 97, 43-52.

森田敏子, 魚崎須美, 早川佳奈美, 細川つや子, 上田伊佐子(2018). 看護基礎教育と看護継続教育の歴史的変遷からみた専門職としての看護キャリア形成. *徳島文理大学研究紀要*, 95, 95-115.

文部科学省. 3 大学・短期大学に適用される指定規則大綱化の必要性.

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/031/toushin/07092515/003.htm

中川名帆子, 山内豊明, 小西真人 新任看護系大学教員に必要な教育実践能力に関する質的研究:ベテラン教員と新任看護系大学教員の意見に焦点をあてて. *岐阜聖徳学園大学看護学研究誌*, 4(1), 1-13.

中尾久子(2021). 病院看護師の看護倫理と倫理教育の変遷. *福岡医学雑誌*, 112(3), 176-186.

鈴木康美(2020). 看護実践のリフレクションを深める支援に関する研究: Senge の学習する組織の観点から. *教師学研究*, 23(2), 43-53.

高橋良幸(2022). 看護学教育の動向と課題:カリキュラム改正への対応. *日本薬理学会誌*, 157, 94-99. <https://doi.org/10.1254/fpj.21093>

安酸史子(2011). 看護実習教育における看護教員の学習支援について. 厚生労働省第6回「今後の看護教員のあり方に関する検討会」資料.